

清水森林公園

清水区西里 黒川

興津川支流黒川流域にある静岡清水森林公園「やすらぎの森」は、静岡市内でも数少ない里山の雰囲気が残り、広大な森林と清流がおりなす自然豊かなオープンランドスケープ型の公園です。

この公園では、1年をとおしていろいろな生物が観察できます。

しょくぶつ

● アキノタムラソウ



野原に多く見られるシシトフの多年草で、7～11月に青紫色の花を咲かせます。本州～沖縄、分布し、朝鮮半島や中国大陸にも分布します。

● イロハモミジ



日本では最もよく見られるカエデの仲間。葉は楕円形で、秋の紅葉が見事な、昔から庭園、寺社の境内に植えられてきました。

● カキドオシ



シンの仲間。つる性多年草で、湿り気のある草地、林縁、畑地の脇などに生育します。4～5月に紫色の花を咲かせます。

● カントウマムシグサ



関東地方とその周辺の山林に生育するアナンショウの仲間。花は筒筒で、緑色で白色の筋があります。

● クモラン



横裂に生育するシシトフの仲間です。横裂に咲く花から放射状に出る扁平な根をクモランと呼びます。花は4～5月に白色の花を咲かせます。

● ホウチャクソウ



ユリの仲間。4～5月に花を咲かせます。花は枝先に1個～3個ずつ付いて垂れ下がります。

● ヤママグワ



丘陵から山地にかけて生育する落葉樹で、かつては重要な薬材であった。熟した果実を食べられます。

● ヨウラクラン



岩壁や岩上などに着生するランの仲間。4～6月に、茎の先の花序にごく小さな花を数多く咲かせます。

とり

● イワツバメ



夏鳥
全長15cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● ツバメ



夏鳥
全長17cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● モズ



留鳥
全長20cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● ジョウビタキ



冬鳥
全長14cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● ウグイス



留鳥
全長15cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● カワラヒワ



留鳥
全長15cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● カケス



遷鳥
全長33cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

● コゲラ



留鳥
全長15cmくらい。山地や海側の崖地、長近は橋や建物にも集団で巣を作り繁殖します。空中で虫を食べます。

さかな

● カムツ



体長20cmくらいになる淡水魚で、主に川の上流～中流にすんでいます。オキカマドからベタの汚りに弱い魚です。

● ウグイ



最大体長50cmくらいになるコイ科の淡水魚です。こげ茶色を帯びた緑色で、体側に1本の黒い横帯が走ります。

● カジカ



体長15cmくらい。小型のカサゴの仲間。渓流のきれいな水を好みます。地域によってはゴリと呼ばれます。

● オオヨシノボリ



体長10cmくらいになるイセの仲間。腹のつけ根にハシのつばねに似た形や三角形の模様があります。

こかげ・かえる

● ヒガシニホトカゲ



山地から低地の陽当たりよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌とします。幼体は青色、成体は褐色です。

● ニホンカナヘビ



20cmくらいで、山地から人家まわりまでよく見かけられます。小さな虫やクモなどを餌とします。

● ツチガエル



小型のカエル。茶色で背中にイボがあります。水田、池、河川などにすみ、ギユ、ギユと鳴きます。

● シュレーゲルアオガエル



体長3.2～4.3cm、メス4.3～5.3cmくらい。水田や森林などに生息し、肉食性の昆虫、節足動物などを食べます。

むし

トンボ・セミ

● ミヤマカワトンボ



体長7cmくらい。茶色の体が特徴。山地の渓流に見られます。

● ヒメサナエ



体長5cmくらい。小型のサナエトンの仲間。深淵に棲息する日本特産種です。

● コオニヤンマ



体長8～9cmくらい。河川の上中流域の河原の石の上や枝の先などにとまります。

● ダビドサナエ



体長4.2～4.9cmくらい。胸部側面に黒い筋が2本入ります。上中流域の河川近くでよく見られます。

● ムカシトンボ



体長5cmくらい。中型のトンボで、日本固有種で、生きた化石と言われる動物の一つです。山麓部のせせらぎな清流に生息します。

● ホソミイトンボ



体長3cmくらい。細長いトンボで、胸部側面と腹部が青いトンボです。平地の水生植物の多い池や沼で見られます。

● ヒグラシ



中型の体長3cmくらい。朝夕に鳴き、手繰り返し鳴きます。6月下旬頃から7月上旬頃に発生します。

● ニイニイゼミ



小型の体長2cmくらい。朝夕に鳴き、手繰り返し鳴きます。6月下旬頃から7月上旬頃に発生します。

むし

チョウ

● モンキアゲハ



日本最大級のチョウで、後ほど白く、黒い斑が特徴です。幼虫はミミズ科の葉が好みます。

● オナガアゲハ



クローヅに似ていますが、はねの全体に黒い斑が特徴です。幼虫はミミズ科の葉が好みます。

● アオスジアゲハ



黒地のほかに水色の筋があり、とても早く飛ぶアゲハの仲間です。幼虫はクスノキの葉を食べます。

● カラスアゲハ



4～9月まで3回ほど発生します。花の蜜を好みますが、夏は谷間の湿った土で越冬することもあります。

● スジグロシロチョウ



中型のシロチョウの仲間です。白いはねに黒い筋が特徴です。モンシロチョウと違って、林の奥にいます。

● ダイミョウセセリ



前ばねの長さが1.5cmくらい。平野部の林縁によく見られ、活潑に飛び、はねを広げて止まります。

● ヤマトシジミ



はねを広げても3cmに満たない小さいチョウです。人家まわりで見られます。成虫は3～11月に見られます。

● ウラギンシジミ



シジミチョウの仲間では最も大きく、前ばねの長さは3cmくらいです。体は黒く、赤い斑が特徴です。はねの縁が白く立ちます。

むし

コウチュウ

● アオスジカミキリ



体長1.5～3.5cm。カミキリムシで、大きな翅が特徴です。幼虫はクワ、イチジクなどの生木を食べます。

● キボシカミキリ



灰黒色の体に薄黄色の斑があるカミキリムシです。幼虫はクワ、イチジクなどの生木を食べます。

● ノコギリカミキリ



体長3～5cm。カミキリムシで、大きな翅が特徴です。幼虫はクワ、イチジクなどの生木を食べます。

● ヤマトタマシ



体長3cmくらい。緑色の体に黒い斑があるカミキリムシです。幼虫はクワ、イチジクなどの生木を食べます。

● イタドリハムシ



体長0.8～0.9cm。ハムシで、成虫は主にイタドリ、その葉を食べます。

● ニワハムシ



体長2cmくらい。ハムシの仲間です。オリーブ色の地に白い斑があります。成虫は4～10月に見られます。

● コガネムシ



体長1.7～2.3cm。コガネムシの仲間です。体は黒く、赤い斑が特徴です。食性は食草性です。

● オオスジコガネ



体長2cmくらい。緑色や茶色に輝くコガネムシの仲間です。夏に針葉樹の葉を食べます。

むし

バッタの仲間

● ショウリヨウバッタ



オスで8cmくらい。大きなバッタです。オスは飛び、音を立て、キチキチと鳴きます。

● ササキリ



体長2cmくらい。体は緑色で背中は黒く、はねは黒色です。昼間に活動し、キチキチと鳴きます。

● クツワムシ



大型のキリギリスの仲間。体は緑色で褐色です。オスは「カチカチ」と大きな音を出し、クスの葉を食べます。

● エンマコオロギ



体長2cmくらい。大きなコオロギで、畑のまわりの草むらにすんでいます。

● マダラズ



体長0.6～0.7cm。小型のズムシの仲間です。比較的に多い場所で見られます。

● スズムシ



日本の鳴く虫の代表格ですが、野生のスズムシはめったに見られません。はねを広げると「リン、リン」と鳴きます。

● カネタタキ



体長0.9～1.5cm。緑色や茶色に輝くバッタの仲間です。主に広葉樹に生息し、「チツチツ」という小さな声で鳴きます。

● クサヒバリ



体長0.6～0.8cm。小型のバッタの仲間です。林縁や草むらにすんで、美しい鳴き声で知られています。